

一般質問



山岡 議員

○鷹島モンゴル村に対する基本的な考え方について

質 鷹島モンゴル村が休村になり、町内外の皆さんはいつ開村するのかわからない心配されている。鷹島モンゴル村に対する基本的な考え方について説明を求めます。

市長 これまでは鷹島モンゴル村を松浦市の観光の核として、交流人口の拡大と集客に取り組んできました。今後は、これから取り組む全国公募の動向を見きわめ、基本的な考えを固めたいと思っています。

質 鷹島モンゴル村は、松浦市にとって観光の核となる施設であり、市長も常々鷹島モンゴル村を観光施設の核にしたいと申されており、観光地にはぜひとも温泉が必要で、温泉施設だけでも早急にオープンしてほしいと思っているが、市長の考えを伺いたい。

市長 鷹島モンゴル村の一体的活用を公募することとしており、その動向を見守りたい。今の段階では温泉だけをオープンするという考えは持っておりません。

質 今回鷹島バイオパーク株式会社が1年足らずで撤退しましたが、そ

の原因についてお尋ねます。

また、休村して1か月以上経過しましたが、市としてこれまでどのような対策を執っていましたか。

商工観光課長 撤退は、来場者数、収入ともに当初計画を大きく下回り、計画の約4割だったというのが大きな要因だと考えております。お客様に足を運んで頂けるだけの施設の魅力が不足していたと思われます。

対策としては、休村前の9月13日に鷹島モンゴル村対策本部を設置し、関係機関とも協議、連携して対応してまいりました。休村後の現在は公募に向けて準備を進めております。
質 全国公募に向けての状況はどのようなになっていますか。

鷹島町内には介護施設があり、松浦市では鷹島モンゴル村の研修センターを改造して介護施設として活用できないかと思っているが、考えを伺いたい。

商工観光課長 対策本部において公募の準備を進めており、12月中には公募を開始することとしています。

副市長 全国的公募をしようとしており、議員と同じような提案があれば当然審査の対象となります。しかし公募前のこの場で特定の業種や施設を申し上げると全国公募の公平性公正性が損なわれます。具体的な言及は避けさせていただきます。

一般質問



宮本 議員

○当市が毎年、県及び国に提出する要望書の成果について

質 私は、10月下旬に会派議員とともに政務調査のため上京し、国会議員や各省庁関係者と面会して本市の政治課題等について協議してまいりました。衆議院議員の前文部科学大臣馳浩氏と鷹島の水中考古学について面談した際には、松浦市は要望実現に向けた政治的迫力がないとのアドバイスを受けました。本市は毎年、県や国に対して要望書を提出しておりますが、その実現のためには、年に一度は市長を先頭に議長、議員全員で大陳情団を編成し、迫力ある行動を起こす必要があると考えます。

成果を上げなければ市民に対し無責任であると思います。いかがですか。
市長 市政の課題、政策の推進ということについては、これまでその成果を上げるために議会や関係団体と一緒に行動をしているところでもあります。要望項目に応じて県、国会議員、関係省庁を訪問し陳情要望活動を行っております。議員ご指摘の活動方法に関しては、効果的な陳情要望活動をどうすればよいか、

引き続き議会とよく相談させていただきます。

○玄海原子力発電所の再稼働について

質 先の新聞に玄海原発3、4号機の再稼働に関して周辺自治体の意向調査結果が掲載してありました。原発30キロ圏内の28自治体の内、6割17自治体が再稼働の前提である地元同意の対象範囲を求めており、中でも佐賀、長崎の5自治体は再稼働に慎重とあります。また、伊万里市長も反対の意思を表明しています。市長としては、再稼働に賛成ですか、反対ですか、お尋ねします。

市長 これまで、安全対策については、国、電気事業者の責任において、不断の対策を講じられることを求めてきたところであります。また、万一の場合に備え、県と一緒に避難対策に取り組んでいるところであります。

再稼働に対しては、国、電気事業者による住民説明会の中で住民の十分な理解が得られたのか、そして避難対策が十分であるかを見きわめる必要があります。したがって現時点では、再稼働に対する容認、又は反対については表明する時期ではないと考えています。